

やまがた しんじょう ひさえだ
安芸国山県郡新庄村 久枝家文書 仮目録

広島県立文書館

平成27年(2015)9月

凡 例

1 本目録には、安芸国山県郡新庄村 久枝家文書を掲載した。

2 目録の各項目は以下のとおり。

請求番号 本文書群の群番号(198905)と、この項目の記号を組み合わせたものが請求記号になる。

【例】 1 198905/1

表 題 資料に原表題のあるものはそのまま採り、ないものは適宜付与し〔 〕書きで表記した。内容等で補記すべきものがあれば()で補った。集合形態をした資料の内訳を示す場合には、頭に“○”を付けた。

年 代 資料に記された作成年月日を探り、推測した場合は()書きで表記した。

作 成 資料に授受関係のあるものは で結んで表記した。

形 態 資料の形態を記した。

数 量 資料の点数を記した。

3 文書の排列は請求記号順とした。

4 利用の参考のため、本文書群の概要を冒頭に付した。

【文書群概要】

安芸国山県郡新庄村^{やまがた しんじょう} 久枝家文書^{ひさえだ}（請求記号 198905）

安芸国山県郡新庄村の久枝家の襖下張り文書や絵葉書，同家欄間額の下張り文書など。

出 所 久枝家

出所地名 安芸国山県郡新庄村 / 広島県山県郡大朝町新庄 / 広島県山県郡北広島町新庄 [現在]

旧支配 広島藩領

分 量 74点 (3括, 1袋, 70通)

収蔵までの経緯 平成元年(1988)5月10日に4点 (No.1~4), 平成6年4月27日に70点 (No.5~74), 原蔵者より寄贈。

年 代 享保14年(1729)~天保13年(1842)

歴史(沿革/履歴等) 全74点のうち70点 (No.5~74) について, 寄贈者の久枝秀夫は, 新庄村で代々医師であった伊井家(広島屋)の文書が反故にされ, 久枝家の欄間額の下張りになったと推測する。以下, 同氏の「山県郡新庄村医師伊井氏メモ」から同家の歴史を要約する。

伊井家は, 享年年中と年記のある「山県郡新庄村市絵図」(『大朝町史』下巻, 55頁)に「医者元哲牛馬屋有り」とあり, 享保5年「新庄村人家牛馬御改帳」(新庄村役場旧蔵文書)にも記載がある(これ以前は不明)。菩提寺は新庄村小田寺で, 墓所が新庄の双子山にある。

天保5年(1834)4月13日に死去した伊井元興は, 文政3年(1820)6月晦日「陋室日記」(進藤岱三氏蔵)に「当春石州井原村毛利元泰死, 是新庄伊井元興兄也」という記述があり, 石見国井原村の毛利元泰の弟であったことがわかる。万延元年(1860)7月3日に死去した元叔と, 明治13年(1880)2月18日に死去した元哲は兄弟で, 天保14年「新庄村宗旨御改帳」に記載がある。元哲は弘化4年(1847)に広島 of 医師中西元瑞の弟子入りしたことが, 同年の新庄村「御願書付控」に見える。

伊井氏は明治維新のころ姓を土肥氏に改めた。元哲の子は一夫, その子は環太郎。環太郎は大正初年に若くして死去し, 上市にあった土肥家(広島屋)は惜しくも断絶した。青年時代を新庄で過ごした秀之(環太郎の子)は, 豊田郡木江町に移住し, 助役となった。新庄学園の記念誌『喜寿』(昭和60年(1985)5月)に, 幼少時代の思い出を寄せている。

内 容 No.1・2の襖下張りは, 広島城下広瀬組の大年寄芥川家の文書であったと思われる。No.1「象止宿之刻附廻り御衆中宿々賄料之帖 扣」(4枚)は, 享保14年(1729)に長崎から江戸まで通行した象の記録で, 傷んでいたため裏打ち補修した。No.3・4は絵葉書。No.5~74は, 昭和47年(1972)に家屋を新築した際, 久枝家のオモテ座敷と八畳のカムデ座敷の間仕切りに使っていた欄間額が不要となり, 平成6年(1994)4月に久枝氏が剥がして, 発見したものの。元帳面4冊と伊井元叔・元哲宛ての書状で, 当時の医療現場や農村文化の一端が伺える。ただし, 復元は中途半端になっている。

参考文献 収蔵文書の紹介展「享保十四年に広島を通行した象の資料」(平成5年8月16日開催)

検索手段 「広島県立文書館収蔵文書仮目録」

(2015. 7.27 記述 / 西村 晃)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
1	象止宿之刻附廻り御衆中宿々賄料之帖 扣	享保14.4.6		一紙	1括 (4枚)
2	〔広島城下町広瀬組大町年寄芥川屋御用留断簡〕	享保20.9.8 ~ 10.19	(芥川屋孫左衛門)	一紙	1括 (18枚)
3	広島新天地(絵葉書)		広島 堂	葉書	1袋 (10枚)
4	小林久七葉書(年賀状)	.1.1	安佐郡上安村渡部藤三郎方二 テ小林久七 広島市鍛冶屋町 田辺久太郎殿	葉書	1通
5	某書状断簡(御詠歌, 寄将某駒狂歌)			切紙	1通
6	某書状断簡(明円公へ御伝言御礼, 十両か十五両かは借替へしてくれても宜敷云々)			縦紙	1通
7	小田寺書翰断簡(歳末の印如何致し申すべきや)		小田寺 わたや様	切継紙	1通
8	小田寺書翰断簡(歳末下され物御礼)	.12.25	小田寺	切紙	1通
9	某書翰断簡(サフラン, 当方山之神云々)	.12.		一紙	1通
10	青木三 書翰(年賀)	.1.5	青木三 井伊元叔様	折紙	1通
11	青木元郁書翰(私繁用のため, 尊公様一寸出来仕候様親父様へ御状下されたし)	.10.20	青木元郁 井伊元叔様	折紙	1通
12	青木三 書翰(元郁子長長逗留御礼, 御かへし下されたし)	.2.15	青木三 井伊元叔様	切継紙	1通
13	某書翰(元郁使い, 土産物礼)			折紙	1通
14	某書翰二白(無音御免, 委細は元郁よりお聞き下されたし)	.1.20		切紙	1通
15	某書翰断簡(福心寺坊守不快二付今日御光来下されたし)	.6.20		切紙	1通
16	青木三 書翰断簡	.3.6	青木三 井伊元叔様	切紙	1通
17	某書翰断簡(此元大工四郎兵衛足と顔にはれあり, 診療願ひ)			切紙	1通
18	青木三 書翰断簡(差上申候間御落手下されたし)			切紙	1通
19	某書翰断簡(元郁長逗留なされ御世話二付御礼)			切紙	1通
20	某書翰断簡(遠路御入, 土産下され候二付御礼)			切紙	1通
21	吉左衛門書翰断簡	.1.18	吉左衛門 三哲様	切紙	1通
22	某書翰断簡(此段一入ご安心下されたし)			切紙	1通
23	千田浄光寺書翰断簡(篤信子寺廻り罷合)		千田浄光寺 新庄井伊元叔様	切紙	1通
24	某書翰断簡(尚々先日御頼置候左弟のとまり)		井伊元 様	切紙	1通
25	横田村寺川東仙書翰断簡(尚龕詩御覧に入候)		横田村寺川東仙 新庄村毛利元哲様	切紙	1通
26	某書翰断簡(伝授料如何仕候て宜しきや)			切紙	1通
27	某書翰断簡(はなぢくぢく痛心御座候に付御薬遣わさるべし)			切紙	1通
28	某書翰断簡(慶蔵帰り次第新庄え参上仕候間今暫く御待ち下さるべし)			切紙	1通
29	寺川東仙書翰断簡(先達ては薬方段々御伝下され忝き仕合)	.12.11	寺川東仙	切紙	1通
30	宝祖原庄助書翰(御薬礼壺封差上申候間御受納下さるべく候)	.7.13	宝祖原庄助 井伊元敷様	切継紙	1通
31	宝祖原鑪所庄助書翰(一昨日より腹痛難儀二付御見分願ひ)	.5.11	宝祖原鑪所庄助 新庄広しま や伊井元叔様	切継紙	1通

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
32	宝祖原庄助書翰(当春中おりせ遣し申度)	.12.9	宝祖原庄助 伊井元敷様	切継紙	1通
33	一木庄助書翰断簡(書状送り申候間御届け下さるべし)	.5.10	一木庄助 伊井元鉄様	切紙	1通
34	宝祖原鑪所庄助書翰断簡(通事追々宜しく小便色追々薄く相成)	.11.22	宝祖原鑪所庄助 広しまや先生様	切紙	1通
35	宝祖原頭庄助書翰断簡(ますます御勇健大悦)		宝祖原頭庄助 伊井様	切紙	1通
36	宝祖原庄助書翰断簡(腹痛の調薬願ひ,御薬礼差上申候)	.12.27	宝祖原庄助	切紙	1通
37	あかはね良助書翰(当年は母上様御年回に付何れ参上仕るべしと存候)	.3.12	あかはね良助 伊井大兄	切継紙	1通
38	市木山本や虎太郎書翰断簡(私腹追々宜しく,今日も御薬下さるべし)		市木山本や虎太郎 新庄広島屋様	切紙	1通
39	市木猿田某書翰断簡(追々気分眠も宜,又々御薬御調成られ云々)	.7.10	市木猿田 新庄町広島屋様	切紙	1通
40	恕兵衛書翰断簡(書添礼状他)	.12.27	伝之助改テ恕兵衛 伊井御主人	切継紙	1通
41	草苅原芳助書翰断簡(御世話御礼)		草苅原芳助 伊井氏様	切紙	1通
42	某書翰断簡(挨拶)			切継紙	1通
43	粟屋村兼蔵書翰断簡(一筆奉啓上候)		粟屋村兼蔵 新庄広島屋様	切紙	1通
44	某書翰断簡三通継(南蔵娘之事御申越云々,灸凶ニシテ急便お知らせ願ひ,天津氏云々)			切紙継	1通
45	堂ノ原伝之助書翰断簡(長々御不快に付見舞い他)	.7.2	堂ノ原伝之助 伊井御主人	切継紙	1通
46	吉光書翰(今日か明日にはちらと御光来遣され候様)	.8.18	吉光 伊井先生様	切紙	1通
47	久佐屋善兵衛書翰(御薬四拾式ふく受取,眼病此間より少し宜しからず)	.12.21	久佐屋善兵衛 伊井御氏	切継紙	1通
48	田原四郎右衛門書翰断簡(少々痛も御座候に付御薬遣されたく)	.2.3	田原四郎右衛門 新庄広島屋先生様	切紙	1通
49	利三郎書翰(真平御免下さるべし,書添)	.4.24	利三郎 井伊氏様	切紙	1通
50	中原村佐三郎書翰断簡(当年中何角御懇情千万忝し)	.12.26	中原村佐三郎 井伊元叔様	切紙	1通
51	清増屋平九郎書翰断簡(御断申上候間左様御承引遣されたく)	.7.20	清増屋平九郎	切紙	1通
52	兼蔵書翰断簡(煎湯并洗薬遣さるべき願書)	.5.8	兼蔵 新庄広島屋様	切紙	1通
53	真則三荒・同吉郎兵衛書翰断簡(年始之御祝詞)	.1.16	真則三荒・同吉郎兵衛 新庄井伊元叔様	切紙	1通
54	酒御通	天保13.11	花[広島屋様	横半	1冊
55	戌節季払覚帳 諸店方注文控	天保9.		横半	1冊
56	薬種御通	天保12.益後.		横半	1冊
57	中買屋利三郎書翰断簡(御遠路之処度々御来光御苦労,御薬子料・御薬礼持せ候)	.12.11	中買屋利三郎	切継紙	1通
58	某書翰(年賀,時節柄に付樽開き二八御案内仕らず)	.1.8		切継紙	1通
59	徳十郎書翰断簡(御懇情成し遣され千万忝し)	.12.28	徳十郎 井伊元叔様	切紙	1通
60	元 書翰断簡(甲立薬種屋へ八十匁より八十五匁位二御渡し成さるべし)		板木屋にて元 元哲老	切紙	1通
61	岩本屋貞助書翰断簡(注文の薬種送り,金子高直二付薬種都て高直,成尺ケ相働き)	.1.16	岩本屋貞助 伊井様	切継紙	1通
62	藤井氏書翰断簡(近来御疎遠云々)		藤井氏 新庄井伊医兄	切紙	1通

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
63	某書翰断簡(改年之御吉慶, 娘儀近頃眼を痛少し赤まく在り)			切紙	1通
64	某書翰断簡(月廻仕候得共貴家御揃云々)			切紙	1通
65	某書翰断簡(尊公様先達以来又々御不快之趣, 直ニ御見廻の処風邪ニ付延引)			切紙	1通
66	某書翰断簡(新春之御吉慶, 元哲老御出下され, 殊ニ御土産ニ預り忝く受納)			切紙	1通
67	某書翰断簡(此間は御苦勞ニ御出下され, 殊ニ御年始ニ預り忝く受納)			切紙	1通
68	某書翰断簡(当季此元之内へ調薬遣さる分一々書抜き今日御渡し遣さるべし))			切紙	1通
69	某書翰断簡(先頃は御取持ちに預り忝し)			切紙	1通
70	某書翰断簡(此間御用意候書物取戻し下さるべし)			切紙	1通
71	某書翰断簡(見舞御礼壺封進上申候)			切紙	1通
72	某書翰断簡(新春の御吉慶云々)			切紙	1通
73	某書翰断簡(一筆啓上仕候, 残暑之砌云々)			切紙	1通
74	書翰断簡			切紙	1括 (6枚)